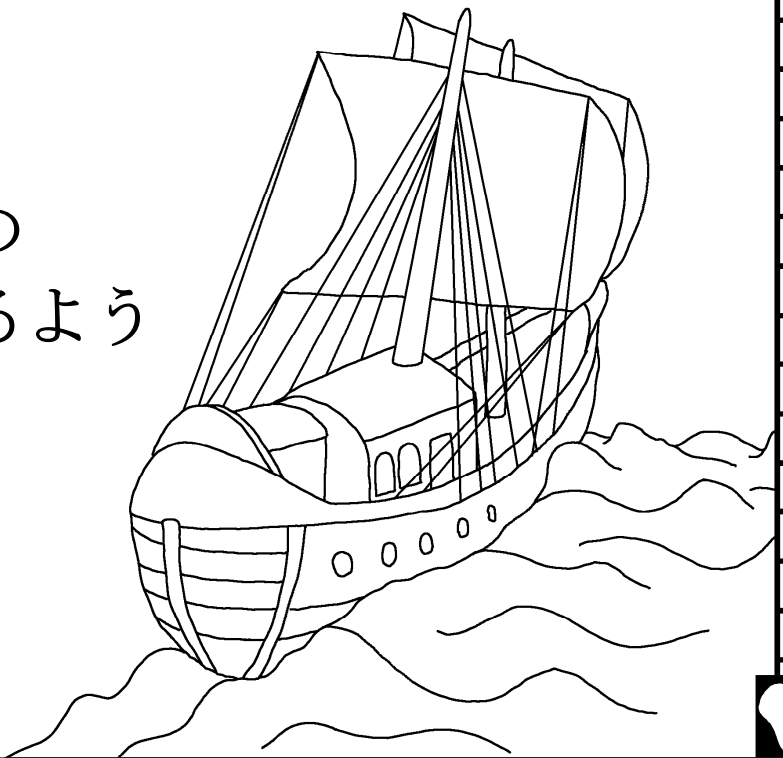


こども  
子供のインターネットバイブル  
案内いたします

パウロの  
びっくりするよう  
なたび



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: Janie Forest

かいさくしゃ  
改作者: Ruth Klassen  
Alastair Paterson

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki  
しゅっぱんしゃ  
出版社: Bible for Children  
www.M1914.org

BFC  
PO Box 3  
Winnipeg, MB R3C 2G1  
Canada

©2020 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

パウロとシラスは、イエスさまの申し。

ろうやの中にいますね。なにか、  
わるいことをしたのかな。いいえ、  
なにひとつ、わるいことをしていません。

ふたり おんなひと なか あくれい  
二人は、女の人の中にいた悪霊をお

い出したのです。そして、ぐう像を

礼拝しているフィリピの人々に、

ほんとうの神さまと、み子イエス

さまの力を見せました。

でも、そのた

めに二人は、

つかまってし

まいました。

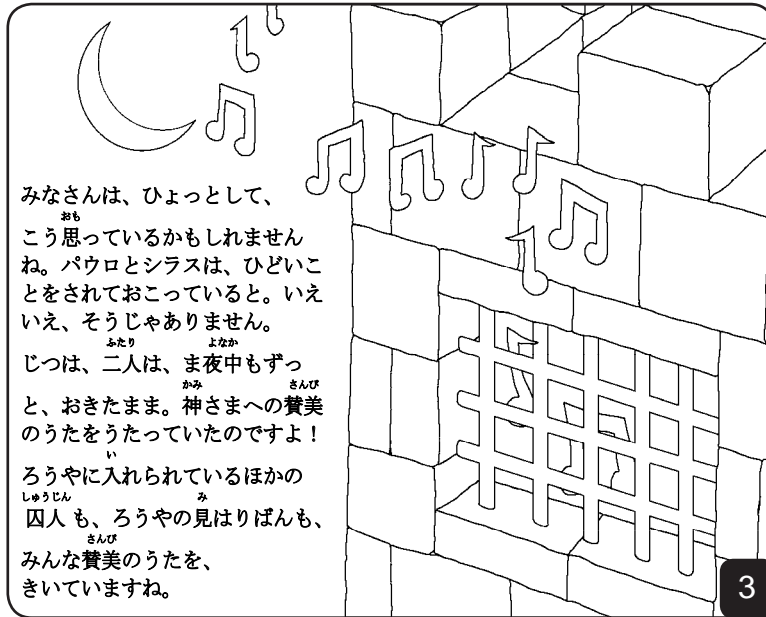
むちでうたれ、

ろうやにとじこ

1

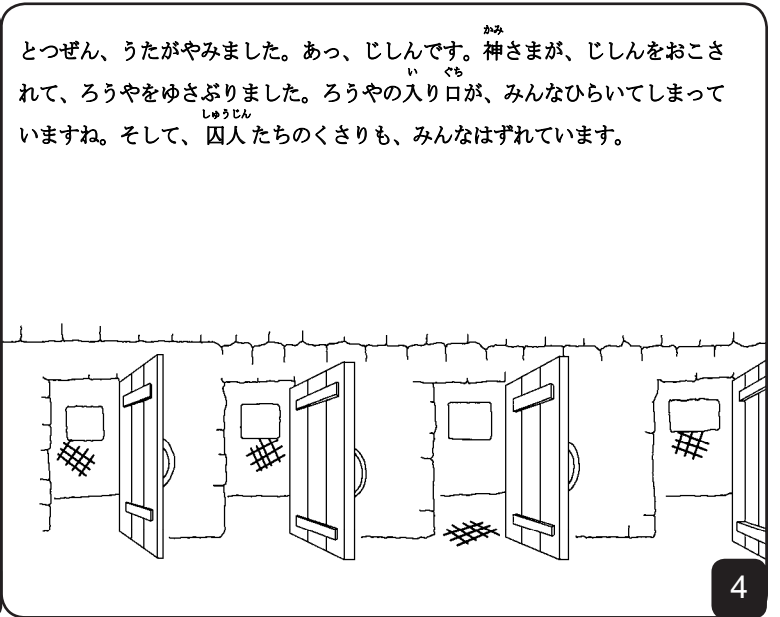


2



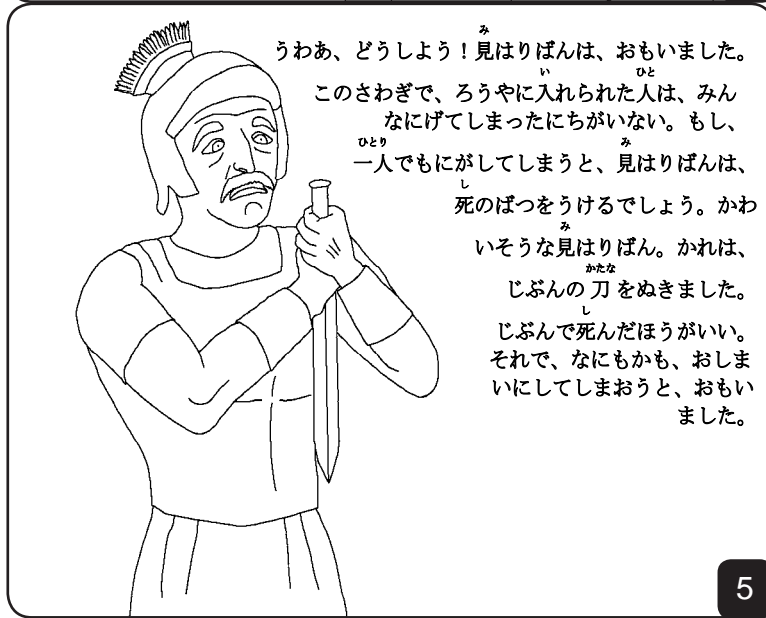
みなさんは、ひよっとして、  
こう思っているかもしれません  
ね。パウロとシラスは、ひどいこ  
とをされておこっていると。いえ  
いえ、そうじゃありません。  
じつは、二人は、ま夜中もずつ  
と、おきたまま。神さまへの賛美  
のうたをうたっていたのですよ！  
ろうやに入れられているほかの  
囚人も、ろうやの見はりばんも、  
みんな賛美のうたを、  
きいていますね。

3



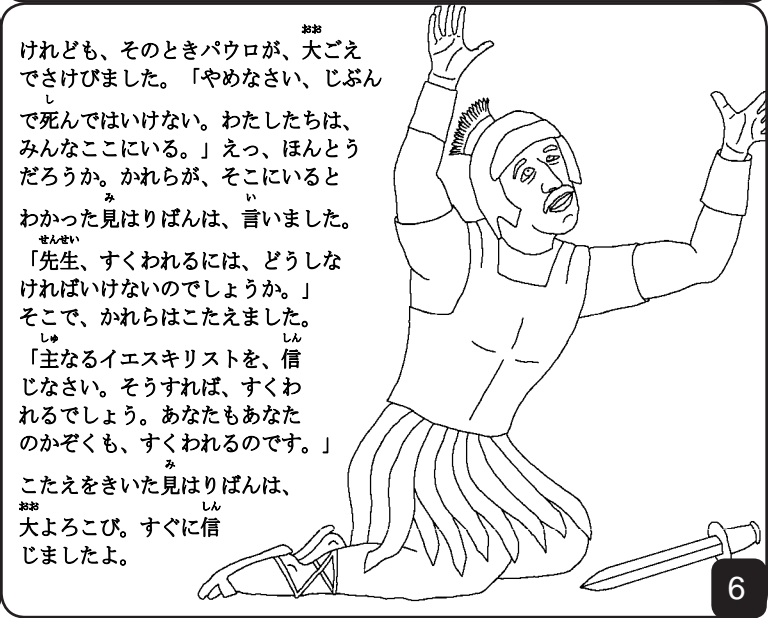
とつぜん、うたがやみました。あっ、じしんです。神さまが、じしんをおこさ  
れて、ろうやをゆさぶりました。ろうやの入り口が、みんなひらいてしまっ  
ていますね。そして、囚人たちのくさりも、みんなはずれています。

4



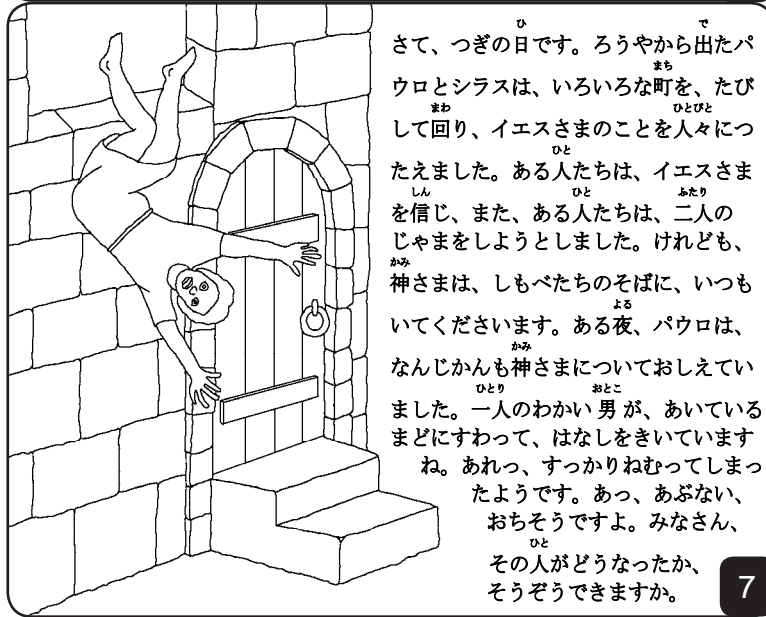
うわあ、どうしよう！見はりばんは、おもいました。  
このさわぎで、ろうやに入れられた人は、みん  
なにげてしまったにちがいない。もし、  
一人でもにがしてしまうと、見はりばんは、  
死のばつをうけるでしょう。かわ  
いそうな見はりばん。かれは、  
じぶんの刀をぬきました。  
じぶんで死んだほうがいい。  
それで、なにもかも、おしま  
いにしてしまおうと、おもい  
ました。

5



けれども、そのときパウロが、大ごえ  
でさげびました。「やめなさい、じぶん  
で死んではいけない。わたしたちは、  
みんなここにいる。」えっ、ほんとう  
だろうか。かれらが、そこにいと  
わかった見はりばんは、言いました。  
「先生、すぐわれるには、どうしな  
ければいけないのでしょうか。」  
そこで、かれらはこたえました。  
「主なるイエスキリストを、信  
じなさい。そうすれば、すぐわ  
れるでしょう。あなたもあなた  
のかぞくも、すぐわれるのです。」  
こたえをきいた見はりばんは、  
大よろこび。すぐに信  
じましたよ。

6



さて、つぎの日です。ろうやから出たパ  
ウロとシラスは、いろいろな町を、たび  
して回り、イエスさまのことを人々につ  
たえました。ある人たちは、イエスさま  
を信じ、また、ある人たちは、二人の  
じやまをしようとしました。けれども、  
神さまは、しもべたちのそばに、いつも  
いてくださいます。ある夜、パウロは、  
なんじかんも神さまについておしえてい  
ました。一人のわかい男が、あいている  
まどにすわって、はなしをきいています  
ね。あれっ、すっかりねむってしまった  
ようです。あっ、あぶない、  
おちそうですよ。みなさん、  
その人がどうなったか、  
そうぞうできますか。

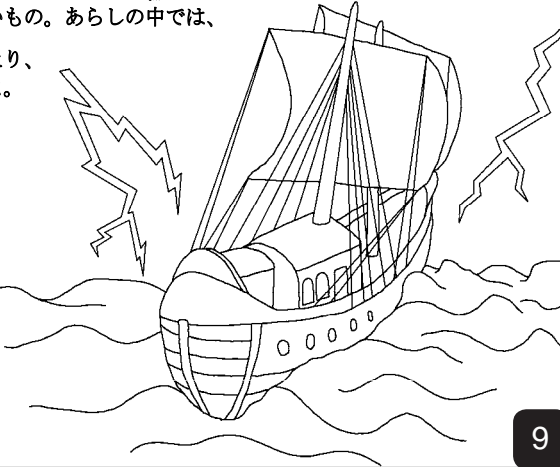
7



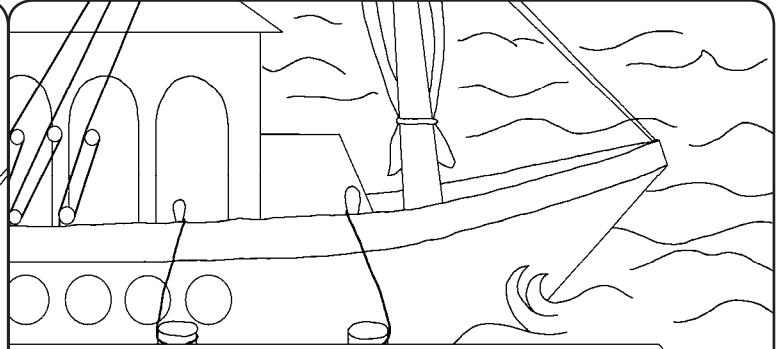
ああ、かわいそうに。みんなは、  
そのわかものは、死んでしまった  
ことが、わかりました。けれど  
も、パウロはどうしたでしょう。  
下りて行き、わかものをだきよ  
せ、言いました。「かれは、生き  
ている。」そのとき、人々は、  
そのわかものが生きかえったとわ  
かったのです。みんな、よろこび  
でいっぱいです。

8

ヨーロッパをたびしながら、パウロとシラスは、たくさんのぼうけんをしました。パウロのすばらしいぼうけんの一つを、おはなしましょう。パウロが、船にのっているときです。その船は、がんじょうで大きいものではなく、帆をはっただけの小さいもの。あらしの中では、上がったりがったり、はげしくゆれますよ。



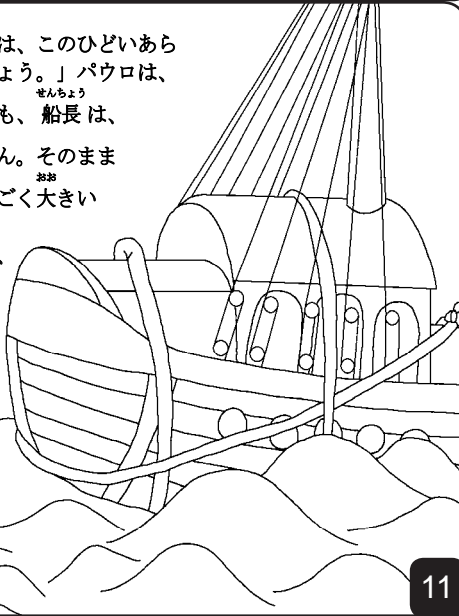
9



パウロは、その船にのっていました。なぜなら、また、つかまえられてしまったからです。かれは、ローマの皇ていのところへ、いかなければなりません。ローマは、そのころ国々の中心の町でした。はげしいかぜがふき、船はのろのろ。あっ、止まってしまいましたね。あらしがやってきそうです。パウロも、ほかの囚人たちも、船ではたらく人たちもみんな、そのたびは、ほんとうにたいへんでした。

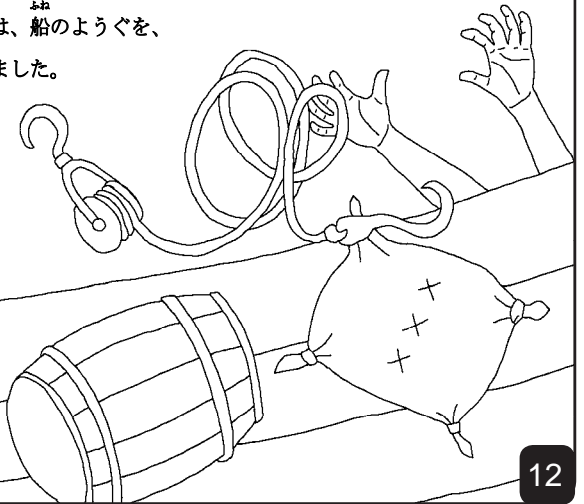
10

「みんな、きいてください。船は、このひどいあらしで、だめになってしまうでしょう。」パウロは、みんなにつよく言いました。でも、船長は、パウロの言うことなどききません。そのまま海をすすんでいきます。ものすごく大きいあらしが、おそってきました。うわあ、たいへんだ。みんなは、船をそこからロープでまき、しっかりくくりつけました。これで、船がバラバラになりませんように。もし、船がこわれてしまつたら、みんな、海のなかで、死んでしまいます。



11

船は、上や下に、右や左にぐらぐら。あまりはげしくゆれうごくので、船長は、みんなに命れいしました。「船を、かるくするんだ。」三日めに、みんなは、船のようぐを、海にすててしまいました。もしかして、これでうまくいかもしれませんね。



12

夜のあいだ、天使がパウロのそばに立って、つたえました。「だいじょうぶ。すべてうまくいきます。」そして、パウロが、みんなにつぎのように言ったとき、みんなはゆう気がわいてきました。「さあ、みんな、元気をだして。わたしは、神さまを信じています。神さまの言われたようになるのです。しかし、わたしたちは、かならずある島にうち上げられるはずですよ。」



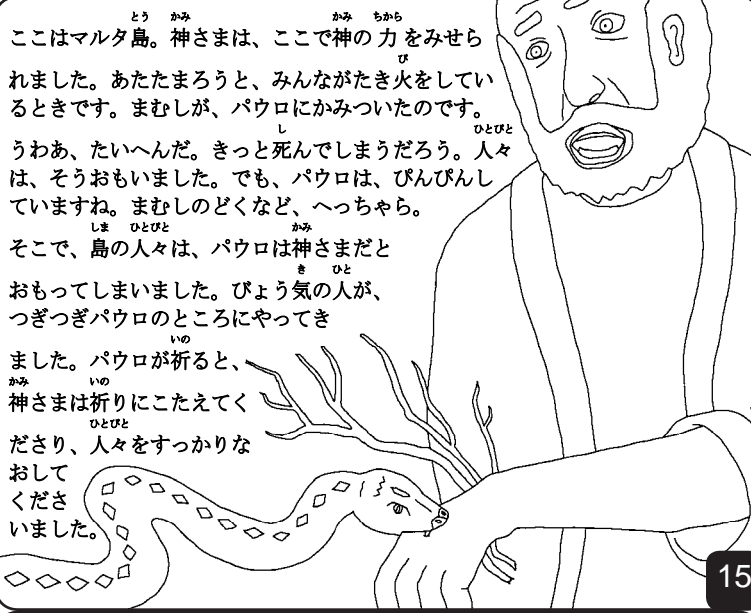
13

なん日か、たちました。船はマルタ島のちかくを、ながされていったかと思うと、ドシン。水のあさいごつごつした岩にぶつかり、ばらばらになってしまいました。船長は、めいれいしました。「さあ、およげる者が、はじめに海にとびこんで、りくに上がれ。のこりの者も、うまくにげろ。板きれにのったり、こわれた船のはしにつかまったりするんだ。」



14

ここはマルタ島。神さまは、ここで神の力をみせられました。あたたまろうと、みんながたき火をしているときです。まむしが、パウロにかみついたのです。うわあ、たいへんだ。きっと死んでしまうだろう。人々は、そうおもいました。でも、パウロは、びんびんしていますね。まむしのどくなど、へっちゃら。そこで、島の人々は、パウロは神さまだとおもってしまいました。びょう気の人が、つぎつぎパウロのところにやってきました。パウロが祈ると、神さまは祈りにこたえてくださり、人々をすっかりなおしていただきました。

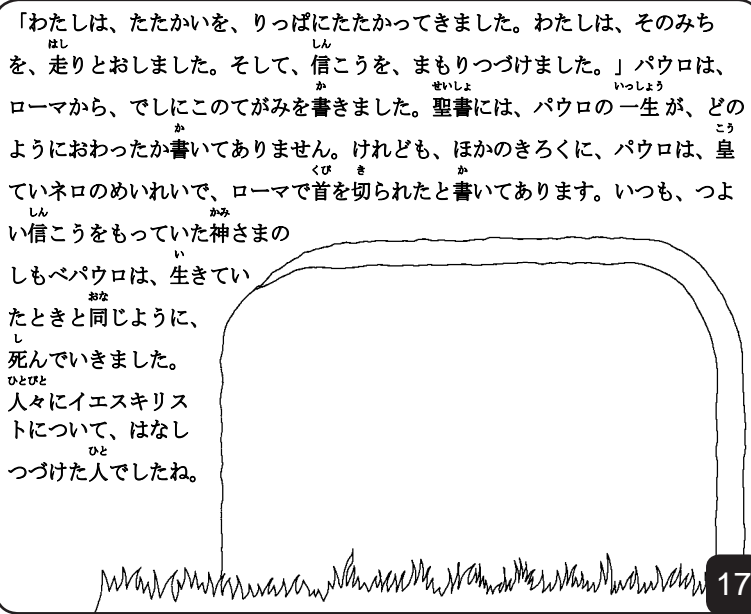


とうとう、パウロは、ローマにつきましたね。でも、パウロのさいばんがはじまるまで、それから2ねんいじょうも、かかったのです。そのあいだ、パウロはいえをかりて、たずねてくる人々を、よろこんで出むかえました。さて、みなさん、パウロはその人たちに、なにについてはなしたか、わかりますか。



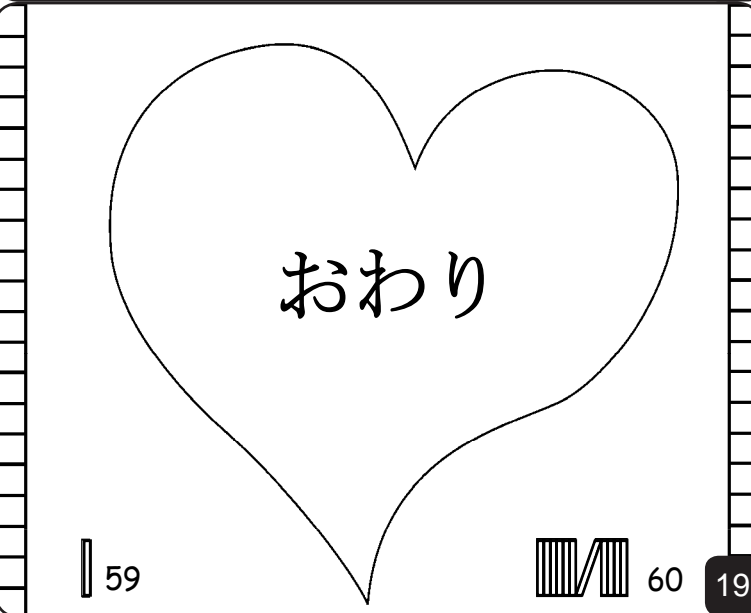
もちろん神のみ国！主なるイエスキリストです！パウロは、ローマでも、ほかのどんなどころでも、いつでも神さまのよきしもべです

「わたしは、たたかいを、りっぱにたたかってきました。わたしは、そのみちを、走りとおしました。そして、信こうを、まもりつづけました。」パウロは、ローマから、でしにこのてがみを書きました。聖書には、パウロの一生が、どのようにおわたか書いてありません。けれども、ほかのきろくに、パウロは、皇ていネロのめいれいで、ローマで首を切られたと書いてあります。いつも、つよい信こうをもって神さまのしもべパウロは、生きていたときと同じように、死んでいきました。人々にイエスキリストについて、はなしをつづけた人でしたね。



パウロの びっくりするようなたび  
 神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。  
 使徒のはたらき 16 章、27-28 章、  
 テモテへの手紙 2 章 4 章  
 あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。  
 詩篇 119:130

おわり



この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、思っています。  
 神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしやいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪のむくい、死です。  
 けれども、神さまは、あなたをとても愛していらっしやいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架で亡くなられたのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生きることができますよ。  
 もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。  
 愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみがえって、いま生きていらっしやいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにすることができるよう。あなたにたがえますよう、あなたの子として生きることができるよう、たずねてください。アーメン  
 まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書 3 : 16